

# 謹んで新春のお慶びを申し上げます！



馬場徳明代表

明けまして

おめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

「新しい年・二〇二五年」は県連合にとつて極めて重要な年となります。

二月の大分市議選・四月の豊後大野市議選、社

民党にとつて国政政要件がか



かつた負けられない七月の参議院選挙、そして南西諸島・沖縄・九州を一体として米軍・自衛隊の強化に突き進み、私たちの身近にも住民をないがしろにしての敷戸大型弾薬庫建設と湯布院駐屯地の機能強化。多くの運動課題が山積みしています。どの活動も重要なものです。県連合の浮沈をかけた闘いが始まると言っても過言ではありません。

県連合一丸となつて闘いを進めていかなければなりません。党員・ご家族の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、



皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

二〇二五年 元旦  
社会民主党大分県連合  
代表 馬場 徳明

あけまして おめでとうございます

本年も新たな気持ちで皆さんのお役に立てるように頑張つてまいります。

本年は戦後八〇年です。今年や来年を「新しい戦前」にしてはなりません。ずっと「永遠の戦後」を続けなければと思います。

さて、昨年十二月十三日に今任期最後の定例会が閉会し、

二月九日告示、十六日投票の日程で大分市議会議員選挙が実施されます。定数四十四名

に対して六十名前後が立候補を予定しており、大変厳しい選挙戦が予想されます。

立憲民主党との合流に伴い、社民党の自治体議員は二名に

なりました。貴重な議席を守るために全力で頑張りますので、皆さんのご支援をよろしくお願いします。



高野博幸大分市議



原田健蔵豊後大野市議

謹んで新年のお慶びを申し上げます

十一月二十九日から十二月十七日の間、定例会が開催されました。一般質問では、市内の高齢単身者、並びに夫婦世帯が四十%超という現実を踏まえ、地域コミュニティの充実を図り、高齢者サービスの一層の拡充、そして能登半島地震を教訓とした避難所の要諦、トイレット対策について市執行部の考えを質しました。

九月定例会は、人工膝置換手術のため止む無く一カ月欠席ということになり、職責を果たせず申し訳なく感じています。

さて、いよいよ今春、改選を迎え

四月六日告示、十三日投票で、定数二減の十六議席を争う大変厳しい選挙戦となります。



頑固に憲法！頑固に平和！を胸に刻み、当選にむけて頑張りたいと思います。どうか皆さま方の絶大なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

平和をめざすついで in 大分2024

十二月一日、若草公園で開催された平和をめざすついでいの集會に大椿ゆうこ社民党副党首・平山良平愛知県連合代表が参加され、社民党を代表して大椿副党首が次のように挨拶されました。

「敷戸弾薬庫・湯布院駐屯地を視察し、大分県が軍事基地化されていることに強い憤りを感じた。皆さんと共に社民党も頑張ります！」  
協力党員の秋吉氏が（写真右から三人目）宇佐から駆けつけて参加してくれました。





# 得票行動に取り組もう！

二〇二五年、大分市議選は二月九日告示、二月十六日投票で実施されます。四十四名定数で、まだ確定されていませんが六十名前後の立候補者が想定されます。

八期目をめざし社民党公認で立候補する「高野博幸」は、大幅に遅れていた選挙体制も概ね確立しました。

昨十二月二十二日に「高野博幸」後援会事務所の事務所開きを、地元自治会の多くの自治会長さんや、支援組織の皆さんが参加され盛大に開催いたしました。

ただ、前回より大幅に取り組みが遅れています。投票日まで約一カ月しかありません。年末年始の活動の休止を含め、早急に遅れを取り戻さなければなりません。まさに短期集中決戦となりました。

候補者乱立の今回の選挙、確実な票をいかに確保するにかかっています。私の取れる票は限られています。足りない分は妻に協力をお願いしました。「票を頼む」と機械的に言うのではなく、誠意を込めて高野博幸の危機を訴えました。



二村誠一副代表



妻も理解してくれ即、行動を起こしてくれました。妻、奮闘記の一部を紹介いたします。

① 近所の奥さん方を家に招き(三名)そこで高野博幸が支持をお願いする  
② 公民館教室で(五名)高野博幸を紹介する  
③ 親戚や友人にメールをして、高野博幸とお願いにあがる

等々一週間で二十枚の協力者カードを提出してもらった。妻に感謝です。皆さんも少し角度を変えて「得票行動」をすれば新たな票が獲得できます。

社民党唯一の公認「高野博幸」の当選をめざして頑張る期間はあと僅かです。党員の皆さんの悔いのない闘いをお願い致します。

県連合副代表 二村 誠一

## 後援会事務所開きスナップ



## 日本被団協ノーベル平和賞受賞



ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会を代表して挨拶された田中熙巳代表委員は、受賞演説で「原爆で亡くなった死者に対する償いは、日本政府は全くしていないという事実をお知りいただきたいと思います」と国家補償を認めていない政府の姿勢を二度にわたり強く批判をしました。

今、核の脅威が世界で叫ばれています。核兵器禁止条約に批准・署名し、核なき世界を実現することを目指している私たちも被団協とともに頑張らねばなりません。



## 糯米150kg！もちつき大会！12月13日

宗方支部の田中書記長が丹精込めて作られた糯米2俵半(150kg)を、党员・勤労協・ボランティアの皆さんと餅つき大会を開催した。パレスチナ自治区ガザと能登半島の避難者に餅を送る予定でしたが受け入れ困難ということで日常活動に頑張ってる皆さんにお餅を配布しました。

